

臨床研究等の情報公開

研究課題名	腹部大動脈ステントグラフト内挿術（EVAR）後の大動脈瘤再拡大予防に関する因子の探索
研究機関	青森市民病院 心臓血管外科
研究内容	<p>青森市民病院では、腹部大動脈に対してステントグラフトによる治療を受けられた患者さんを対象に研究を実施しています。ステントグラフト治療は傷も小さく、手術の負担が少ないことが利点です。しかしながら動脈瘤をとってしまうのでは無いため、将来的に残っていた動脈瘤が大きくなり再治療が必要になることがあります。これらのステントグラフト治療を受けられた患者さんのデータをカルテから収集し、手術から数年たって再治療を必要とした方と必要のなかった方の手術前の状態、手術内容等を比較し今後のより良い治療の提供に役立てます。</p>
実施期間	研究倫理委員会承認日～令和9年3月31日
対象者	2015年4月から2025年12月までに青森市民病院心臓血管外科で腹部大動脈瘤に対してステントグラフト治療を行われた方
実施方法	<p>上記期間中にステントグラフト治療を行われた方について下記の情報を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①年齢、性別、採血データ（腎機能）、他に治療されている病気の有無 ②手術日、手術内容 ③術後観察期間、術後CT結果 ④再治療の有無及び内容 <p>データは匿名化され、個人を特定できない形で保管します。収集された情報や記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、当院にて保管します。</p> <p>本研究にデータをご提供いただく事で生じる個人の利益は特にありません。また、カルテからのデータ収集のみであるため不利益も特にありません。</p>
参加撤回の自由	<p>患者個人が特定されるような情報は利用せず、公開も行いません。患者さんが解析対象となることを望まない場合、研究対象から除外します。担当医師にご連絡ください。その場合、診療において不利益となることはありません。</p> <p>ただし、同意を撤回したときすでに研究成果が論文などで公表されてい</p>

	<p>た場合や調査資料が完全に匿名化されて個人が特定できない場合などには、調査資料を廃棄できないこともあります。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>研究に関するご質問、資料などについての問い合わせは下記にご連絡ください。</p> <p>研究責任者：近藤 慎浩（こんどう のりひろ） 〒030-0821 青森市勝田 1-14-20 青森市民病院 心臓血管外科 TEL：017-734-2171（代表） e-mail：aomoricity.cvs@gmail.com</p>